

【12月15日】

発言議員	議案件名	要旨 答弁者
<p>15番 丑久保恒行議員</p>	<p>1. 不登校やいじめへの対策に向けて ① 公立学校の実態 ② さわやかボランティア、いきいきスクールカウンセラーの配置状況と業務内容 ③ 教諭との連携（情報交換の実情） ④ 今後の配置計画 ・ さわやか相談員の全校配置 ・ 心理士やスクールカウンセラーの導入計画</p> <p>2. 地域住民の利便性の確保を ① 平成18年度 区長申請の消化度合 ② 未消化個所の実施計画 ③ 平成19年度 申請受付状況 ④ 市の基本的姿勢（今後）</p> <p>3. プール跡地の利用方法（岩瀬） ① 跡地の利用経過 ② 地域住民への情報提供 ③ 今後の跡地利用</p>	<p>① 教育次長</p> <p>② 都市整備部長</p> <p>教育次長</p>
<p>5番 小野幸夫議員</p>	<p>1. 改正介護保険法について</p> <p>2. 東武伊勢崎線利便性の向上について</p>	<p>① 市民福祉部長</p> <p>② 企画財政部長</p>
<p>9番 松本敏夫議員</p>	<p>1. 市政運営について ① 平成19年度へ向けた市政運営方針について ② 平成19年度予算編成の重点施策について ③ 職員の退職者増に伴う市民サービス低下懸念について ④ 緊急災害におけるボランティア人員配置について（水害ボランティアと関連して）</p>	<p>① 市長</p> <p>② 総務部長</p>
<p>13番 蜂須直巳議員</p>	<p>1. 羽生駅トイレの整備と都市公園トイレの水酸化促進について 乗降客の多い鉄道駅周辺に公衆トイレが無い事に多くの市民から問題指摘する声は強い。駅構内のトイレを借用出来ることにはなっているが、多くの人は、そこまでして利用する感覚は少ない。 今にして思えば、駅舎改修、駅広整備の時点でシッカリとした計画を組むべきだったと反省の声はあるが、今からでも場所の選定を始め、計画を具体化すべきと考える。公衆衛生・モラルの観点からも絶対必要と思う。 都市公園で下水道供用開始区域内のトイレで水洗化されていない個所有る。早急に整備促進を図るべき。栃木西公園はスポーツ公園として利用者も多く、水洗化を望む声は以前から数多く出ている。計画的整備で順番もあると思うが、利用の多い場所はより優先的に事業化すべきと考えるが。</p> <p>2. 資源ごみ回収品目の拡大について ビン・缶・ペットボトル・古布・新聞・雑誌類・ダンボールが現在の回収品目であるが、書類や封筒・包装紙等雑紙類も回収品目に加えるべきではないか。回収している自治体もある。庁内では回収してどの程度の紙類まで回収品目に加えられるか研究・検討してきたのか。 現在出来ない理由は。</p> <p>3. 小動物の火葬場建設について 少子・高齢化社会の中でペットブームと云うか「犬や猫」等小動物をかう人も多く、これらの小動物が死んだ場合、火葬を行って手厚く葬っている市民の方々から、市内にもそうした施設の設置を望む声は強い。平成8年3月に同様の質問をし、答弁もいただいており、現在の畜場の一角への建設は難しいと認識しているが、ごみ焼却場内への設置などは検討できないか。 どのような条件がクリア出来れば建設が可能となるか。 仮に新焼却場建設の際には併設は可能か。</p>	<p>① 都市整備部長</p> <p>② 経済環境部長</p> <p>〃</p>